

2018年の人気本

予約が多数かかった人気本ランキングです。【期間：2017年11月20日～2018年11月20日】

| 図書名 | 著者 | 出版者 | 図書名 | 著者 | 出版者 |
|--------------|-------|----------|----------------|-------|--------|
| 1 沈黙のパレード | 東野圭吾 | 文藝春秋 | 11 ファーストラヴ | 島本理生 | 文藝春秋 |
| 2 未来 | 湊かなえ | 双葉社 | 11 野の春 | 宮本輝 | 新潮社 |
| 3 かがみの孤城 | 辻村深月 | ポプラ社 | 13 能面検事 | 中山七里 | 光文社 |
| 4 下町ロケット [4] | 池井戸潤 | 小学館 | 14 ある男 | 平野啓一郎 | 文藝春秋 |
| 5 魔力の胎動 | 東野圭吾 | KADOKAWA | 15 盤上の向日葵 | 柚月裕子 | 中央公論新社 |
| 6 愛なき世界 | 三浦しをん | 中央公論新社 | 16 TAS 特別師弟捜査員 | 中山七里 | 集英社 |
| 7 下町ロケット [3] | 池井戸潤 | 小学館 | 16 フーガはユーガ | 伊坂幸太郎 | 実業之日本社 |
| 8 すぐ死ぬんだから | 内館牧子 | 講談社 | 18 鏡の背面 | 篠田節子 | 集英社 |
| 9 ブロードキャスト | 湊かなえ | KADOKAWA | 18 ナナメの夕暮れ | 若林正恭 | 文藝春秋 |
| 10 ののはな通信 | 三浦しをん | KADOKAWA | 18 銀河食堂の夜 | さだまさし | 幻冬舎 |

職員おすすめの本 2018私が選んだ3冊

2018年を振り返って、今年出版された本や話題になった本などの中から、図書館職員が3冊選びました。

『翼竜館の宝石商人』

高野史緒／著（講談社）小説 913.6 ㊦

17世紀アムステルダム。ペストで死んだはずの宝石商が蘇る。男はまるで絵から出たように、人物の消えた肖像画の前で倒れていた。レンブラントの息子と記憶を失った男とで謎を追う。レンブラントの描いた絵が登場する歴史ミステリー。特にアート好きな方、おすすめです。

『いのちへのまなざし 熊谷守一評伝』

福井淳子／著（求龍堂）美術 723.1 ㊦

岐阜県付知町出身の画家熊谷守一。生前、仙人とよばれていました。その自然を見る目は確かで、作品も簡略化された中に物事の本質が描かれています。そんな熊谷の生い立ちはどのようなものだったのでしょうか。郷土の画家をより知ってみませんか？

『サブキャラたちの日本昔話』

齊藤洋／著（偕成社）児童 913 ㊦

昔話にはおかしなところがあるなと思ったことはありませんか？この本は主人公でなくサブキャラ達に取材して、昔話を違う側面から語られたお話です。児童書とは思えない切り口に、なるほどそうだったのか！と納得できること間違いなしです。

（本館 濱口）

『火定』

澤田瞳子／著（PHP 研究所）小説 913.6 ㊦

時は天平。天然痘の蔓延により、人々は苦しめられることとなった。病の蔓延を食い止めようとする医師たちと、偽りの神を祀り上げて混乱に乗じる者たち。パンデミックによって浮かび上がる、人間の光と闇。絶望的な状況で露わになる人間の「業」を描き、直木賞 159 回候補作にもなった歴史長編。

『刑務所しか居場所がない人たち』

学校では教えてくれない、障害と犯罪の話

山本譲司／著（大月書店）ヤング 326 ㊦

社会の中で行き場をなくした障害者たちの最後の避難所となってしまっている刑務所。「秘書給与流用」で実刑判決を受け、塙の中で知的障がい者の世話係となり、この現実を知った著者が、福祉と司法のすきまに落ちる人々の実態を鋭く説き起こす。

『10年後の仕事図鑑』

堀江貴文、落合陽一／著

(SBクリエイティブ) 社会 304 ㊦

AI(人工知能)が台頭する21世紀。仕事、会社、社会、キャリアはどうなっていくのか。この社会変化を希望とみるか絶望とみるかは、すべて自分次第。「なくなる仕事」と「減る仕事」などを含め、50近くの職業の未来を予測。

（本館 篠田）



『ジブラの日本語ラップメソッド』

Zebra／著（文響社）音楽 767.8ジ

ヒップホップのプロ Zebra（ジブラ）さんによるラップの作り方から演じ方までが書かれた教科書の一冊。これからラップを始める方、もっともっとラップに磨きをかけたい方、ラップを通じてコミュニケーションを広げたい方、楽しく学ぶことができますよ。

『写真好きのための法律&マナー』

吉川明子／著（朝日新聞社）情報 021.2ジ

今やツイッターや LINE など SNS で写真を UP して楽しんでいる方が多くいます。ですがその写真、UP する前にちょっと考えて！知らないうちに法を犯していることがあるかもしれません。この本は、トラブルに巻き込まれないための法律やマナーが書かれています。SNS を楽しむために、まずは、この 1 冊を。

『イモムシとケムシ（小学館の図鑑 NEO）』

鈴木知之 他／著（小学館）児童 486 イ

イモムシとケムシ 1000 種を、生きている状態で撮影した写真と解説が書いてあります。成虫の写真も満載。色も形もリアルにわかります。日本にいる殆どのイモムシとケムシを掲載し学術的にも高い 1 冊。「イモムシかわいい。」「イモムシ好き。」と、今やひそやかなブームになっているそうですよ。（帷子分館 溝口）

『うつ病九段 プロ棋士が将棋を失くした一年間』

先崎学／著（文藝春秋）将棋 796.0セ

藤井聡太七段の将棋フィーバー。その陰で、人知れず「うつ病」に苦しんでいたプロ棋士がおられました。うつは「脳の病気」と断定し、毎日「必ず治ります」とラインを送り続けた精神科医の兄。自死欲求との闘い、もがき苦しむ他者に嫉妬し、絶望の中から再び立ち直りつつある著者の、理性的客観的な闘病記。

『13歳からの絵本ガイド』

金原瑞人／監修（西村書店）読書 019.5ジ

13 歳からの、とありますが、20 歳でも 88 歳でも良い絵本には心が動きます。作家・翻訳家・書店員等、本の「プロ」が進める 100 冊を紹介。これも一期一会、紹介文を読んで「読みたいな」と思ったら検索機またはカウンターへどうぞ。あなたにとっての「心に残る一冊」に巡り会えますように。私は会えました！

『愛×数学×短歌』

横山明日希／編著（河出書房新社）詩歌 911.1ア

「およそ 3 に括られてても嬉しくない 見てよ私の小数点以下」「補助線を引けば解決できるなら 貴方に向けて赤く濃く描く」ズギンと胸に刺さる、恋と数学の短歌集。高校生男女の出会いから別れの、小説仕立てになっています。こんな歌を詠まれたらあなたは どうしますか？「君と僕 どんなに遠い二点でも 一つの線になるろうと思う」

（帷子分館 瀬尾）

『切なくそして幸せな、タピオカの夢』

吉本ばなな／著（幻冬舎）エッセイ 914.6 珪

「すてきさ」は、ほとんど悲しいことと同じくらいにたいへんなのかもしれない。でもそれこそが人生だし、私たちが生き物だという証だ…。日々の些細な事がとても大切なものだと思わせてくれる人生が詰まった本。大人になった子供たちにプレゼントしたい一冊です。

『おしりたんてい みはらしそうのかいじけん』

トロール／作・絵（ポプラ社）児童 913 ト

見た目はおしり、口癖は「フーム、においますね」スイートポテトが好物の“おしりたんてい”が、プブツと事件を解決するシリーズの児童読物第 7 弾。何度も本の隅々、カバーまで読んでも楽しめます。今回の依頼は空き家のおばけ調査。おばけは本当にいる？子供たちが本に夢中になれる、読書の入口にもなる一冊です。

『モンスター・ホテルでハロウィン』

柏葉幸子／作（小峰書店）児童 913 カ

まちはずれの古い郵便局と小さな公園のあいだにあるモンスター・ホテルに集う心優しいモンスター達の話です。新シリーズはハロウィン！モンスターにとっては特別な日です。仮想した人間に混じってありのままの姿で町へ出かけられるはず…が、今回も騒動に巻き込まれます。とても読みやすい安定の一冊です。

（桜ヶ丘分館 三浦）

『わけあって絶滅しました。』

丸山貴史／著 今泉忠明／監修（ダイヤモンド社）児童 482 ヲ

絶滅した生き物たちが、自ら絶滅理由を語り始めるといふコミカルなストーリー。油断して絶滅。やりすぎて絶滅。不器用で絶滅。不運にも絶滅。絶滅にもいろいろあって、笑ってしまいます。でも人間が狩りつくしたとか、持ち込んだとか、人間が原因で絶滅した生き物が多いのは考えさせられます。

『ナナメの夕暮れ』

若林正恭／著（文藝春秋）芸能 779.1ア

考えすぎてしまう、生き方音痴というお笑いコンビ、オードリー若林さんのエッセイです。自分で自分の事をめんどくさい性格だなどと言っているけれど、たしかに…エッセイを読む限りめんどくさい性格だと思ってしまう。悩みながら生きる人へ。答えはないけど、ヒントや励まし、考えるきっかけをくれる一冊です。

『一発屋芸人列伝』

山田ルイ 53 世／著（新潮社）芸能 779.1ヤ

輝いた時代は終わる。それでも、人生は続く…。自他共に認める「一発屋芸人」の髭男爵・山田ルイ 53 世が、世間から「消えた」芸人のその後を追跡取材。波乱万丈な人生に泣ける（でもそれ以上に笑える）けれど、なぜか生きる勇気が湧いてくる一冊です！雑誌ジャーナリズム賞作品賞を受賞。

（本館 樫山）



『四十歳、未婚出産』

垣谷美雨／著（幻冬舎）小説 913.6 妊

四十歳の女性が独身で出産することの難しさが前向きに書かれた作品です。妊娠を快く思わないパワハラ上司からの苦言や、考えが古い田舎の風評に悩みながらも、親兄弟、同僚を味方に付け問題を解決していきます。痛快で優しい、全ての女性への応援小説です。

『歳を取るのも悪くない』

養老孟司、小島慶子／著（中央公論新社）人生訓 159.7 叢

解剖学者であり、「バカの壁」等の著書で知られる養老孟司と、放送局勤務を経て現在ファッション誌「VERY」等にも連載を持つエッセイストの小島慶子。2人の対談型で人生論が繰り広げられます。人生 100 年時代の幸せとは？小島さんの問いに対する養老節が気持ちよい一冊です。

『美術館へ行こう ときどきおやつ』

伊藤まさこ／著（新潮社）芸術 706.9 4

「近所の公園に出かける感覚で」をコンセプトに、北は北海道から南は鹿児島までの、街に馴染んだ小さな美術館を案内。展示を見た後にのんびりできるカフェや軽食処も紹介されていて、旅の途中にふらっと寄ってみたくくなります。近くあの美術館も載っています。

（帷子分館 倉知）

『10代に語る平成史』

後藤謙次／著（岩波書店）児童ヤング 210 コ

まもなく終わろうとしている平成とは、どんな時代だったのでしょうか。政治ジャーナリストである著者によって、政治・経済・外交を中心に平成を振り返った本書は、ヤング向けながら十分な読み応え。新しい時代の幕開け前におすすみたい一冊です。

『よくわかる大使館』

河東哲夫／監修（PHP研究所）児童 329 叢

知っているようでよく知らない「大使館」「外交官」。その奥深い魅力がわかる一冊。外交の重要性を実感すると同時に、日本を代表して働く外交官という仕事のやりがいと素敵さが伝わります。どうしたらなれるのかもわかり説明されているので、これを読んだ若者にぜひ外交官を志してもらいたい！と思います。

『百年泥』

石井遊佳／著（新潮社）小説 913.6 伝

第 158 回芥川賞受賞作。チェンナイの百年に一度の洪水で、百年分の泥の中から掘り出されるモノ、ヒト…。読むほどに煙に巻かれ、現実なのか、どこからがフィクションなのか混乱しますが、頭を柔らかくしてこの異世界を楽しんで。あなたの心の底の泥からは何が掘り出されるかも想像してみてください。（帷子分館 熊崎）

『前川喜平「官」を語る』 前川喜平・山田厚史／著（宝島社）政治 317.2 マ

元文部科学省事務次官の前川氏による、自身が在職していた頃の「政」と「官」の間で進めてきた仕事のやり方と、辞めた今だからこそ言えることがつづられています。いろいろと話題の多い「官」に思うところがある方は結構、いらっしゃるのではないのでしょうか。

『わけあって絶滅しました。』 丸山貴史／著 今泉忠明／監修（ダイヤモンド社）児童 482 叢

近頃、生物について様々な観点から楽しく書かれている本が多く出ています。この本にはいろいろな動物の絶滅した理由がおもしろおかしく書かれています。地球で生きられる生き物の数には限りがあるので、地球全体でイス取りゲームをしているようなものさそうです。

『雲上雲下』 朝井まかて／著（徳間書店）小説 913.6 7 叢

登場するのは幾千もの年月の間、崖の上に立ち続けている草の「草どん」と、そこに現れた子狐に山姥。草どんが語る物語は日本人にとって懐かしいものばかり。それらが時空を超えて交錯する不思議な世界感のお話です。

（本館 饒村）

『おべんとうの時間（4）』

阿部了／写真、阿部直美／文（木楽舎）料理 596.4 7 4

3年ぶりに刊行されたシリーズ最新作。おべんとうハンターの著者が全国で出会ったおべんとうと人の物語です。普段着のおべんとうとともに、いろいろな人の仕事や家族の話など、その人となりや垣間見ることが出来ます。毎回楽しみにしているシリーズです。

『卵を買いに』

小川糸／著（幻冬舎）エッセイ 914.6 枚

小川糸さんの日記エッセイがあるのはご存知でしょうか？何気ない日々のことが書かれており、気軽に読める1冊です。けれどそこには自分が大切に思うことだったり、疑問に思うことだったり、著書にも通じる小川糸らしさを随所に感じることができます。

『くらべる世界』

おかべたかし／文 山出高士／写真

（東京書籍）社会 361.5 叢

雪だるまやクリームソーダなど33の項目で、2カ国間の違いが写真でくらべて解説されています。「フランスのジャンケンを出す手が4種類」など、そうなの！？と思うことがいっぱいあります。くらべるシリーズは「日本」や「値段」、「時代」など他にもいろいろあります。

（帷子分館 長江）

『さざなみのよる』

木皿泉／著（河出書房新社）小説 913.6 紗

5年ぶりの小説、第2作目。ナスミの死が家族や知人を繋ぐ糸となり、又、新しい命が生まれる。あたかも図書館の本を借りて返すように---。読むと、その人だけのものになってしまうように---。読んだ後、さざなみのように、静かに、ゆっくりと、心が温まります。

『辺野古』

中村卓哉／著（クレヴィス）自然 468.8 叢

水中写真家の中村氏が「辺野古」へ通い、山・川・マングローブ林・サンゴ礁域と山から海への生態系を撮った写真集です。そこに生きる生物の多様性・神秘的な美しさに、驚かされます。およそ 200 点の写真が辺野古の自然の豊かさ・大きさを語りかけてくれます。

『天才はあきらめた』

山里亮太／著（朝日新聞出版）芸能 779.1 ヤ

お笑いコンビ・南海キャンディーズの一人、山里亮太の心の叫びを書いた本です。芸人として、完璧であろうとする故に、相方を追い込み、自分自身も傷つきながら、それを糧に努力する。コンビ不仲の時を経て、相方への愛情と感謝の気持ちを持った時、見える景色が変わる。最近、TV で見た二人の漫才は面白かった。

（桜ヶ丘分館 松浦）

『無脊椎水族館』 宮田珠己／著（本の雑誌社）[生物 480.7](#) ㉓

読み終えた後、水族館に向きクラゲやらエイやらを見たくなること間違いなしです。背骨のない得体のしれない生物たちを、ぼんやり眺めて息抜きしたいと思いました。この著者の肩の力を抜いた紹介文も和みます。

『絵本は心のへその緒』 松居直／著（ブックススタート）[読書 019.5](#) ㉔

赤ちゃんを抱っこして、一緒に絵本を見る。優しい声で読みあげる。赤ちゃんにはまだよくわからないだろうけれど、何よりも一緒に居るといった感じが嬉しい。赤ちゃんと絵本に関わる全ての人にお勧めしたい本です。

『任務の終わり』上・下 スティーブン・キング／著（文藝春秋）[外国小説 933.7](#) ㉕

「ミスター・メルセデス」から始まる3部作の完結編です。長編にも関わらず、一気に読み上げてしまえるのは、スティーブン・キングだからこそ。退職刑事と重傷で身動きできないはずの殺人犯との手に汗握るサスペンスです。（本館 林）

『憲法が変わるかもしれない社会』

高橋源一郎／編著（文藝春秋）[法律 323.1](#) ㉖

著者が所属する大学の研究所主催の公開セミナーの記録。講師は森達也・国谷裕子など6人。憲法9条や天皇制という内容はかたい感じがするが、講演や対談の話しことばなので理解しやすい。作家で大学教授という立場の著者が憲法に関しては「無知」と認め、学者などに教を乞う姿勢がいい。

『愛を乞う皿』

田中経一／著（幻冬舎）[小説 913.6](#) ㉗

北大路魯山人は、書でも料理でも陶芸でも名前が出てきて、どんな人物かわからない印象がある。魯山人の秘書のような役割をしていた人物が、本を書くために魯山人ゆかりの7人に話を聞くという設定のこの小説を読むとその人となりがよくわかる。5人目は荒川豊蔵で、「可児」という地名も出てくる。

『父より娘へ 谷崎潤一郎書簡集』

千葉俊二／編（中央公論新社）[書簡 915.6](#) ㉘

谷崎潤一郎は、自分の妻を「譲渡」した佐藤春夫（詩人・作家）宅で暮らす自分の娘に多くの手紙を送っていて、262通も保存されている。手紙の頻度から、別に暮らす娘をとて心配し、精神的にも経済的にも援助していたのがよくわかる。娘以上に孫娘をかわいがる様子は一般人と変わらない。（桜ヶ丘分館 可児）

『蘇るサバ缶 震災と希望と人情商店街』

須田泰成／著（廣済堂出版）[社会 369.3](#) ㉙

東日本大震災により壊滅した缶詰工場の泥に埋まった缶詰が人とのつながりにより早期に再建され『奇跡の缶詰』『希望の缶詰』として当時話題になりましたが、震災を風化させないように今年本が出版されました。今一度、真剣に災害に対する備えを見直したいと思えます。このお話は絵本にもなっています。

『決定版 これがオリンピックだ』

舛本直文／著（講談社）[児童 780](#) ㉚

今までは、セレモニーと競技を見るのが楽しみでしたが、この本では何のために開催されるのかなど根本的な思想を解説してくれています。クスッと笑ってしまう過去のハプニングもあり、児童書ですが大人も楽しむことができます。オリンピックの見方が変わり2年後がますます待ち遠しくなります。

『痛い靴がラクに歩ける靴になる』

西村泰紀／著（主婦の友社）[技術 589.2](#) ㉛

デザインは気に入っているのに足に合わず諦めた靴は数えきれないほどあります。「靴を売らない靴屋」の店主が、自分の足の形を理解して説明書きには無いインソールの使い方を知ることによって痛くて履けない手持ちの靴を楽に履けるよう指南してくれています。いつまでもきれいな姿勢で颯爽と歩けたら素敵ですね。（本館 土谷）

『1日1ページ、読むだけで身につく世界の教養365』

デイヴィッド・S. キダー／著

ノア・D. オッペンハイム／著（文響社）[総記 033](#) ㉜

歴史、文学、芸術、科学、音楽、哲学、宗教、365日1日1ページ、1週間で7分野偏らず教養を身につけ、視野を広げることができます。毎日無理なく1ページ、脳の活性化にいかがでしょうか。出来ればそばに置いておきたい、1年の始まりにおすすめの本です。

『学校に行きたくない君へ』

全国不登校新聞社／編（ポプラ社）[教育 371.4](#) ㉝

わが国唯一の不登校専門誌「不登校新聞」に掲載された、樹木希林さん、西原理恵子さん、羽生善治さん、茂木健一郎さんなど著名人20名の「生き方のヒント」。学校に行けない、行きたくない、そんな思いで苦しんでいる子やその家族に、いろいろな生き方があるということを知ってほしい一冊です。

『どんな災害でもイヌといっしょ』

徳田竜之介／監修（小学館）[産業 645.6](#) ㉞

今年も自然災害が多い1年でしたが、愛犬を守る準備はできていますか？災害時の備蓄品はもちろんのこと、在宅避難、車中泊、避難所生活などのそれぞれの注意点、必要なしつけや健康管理など、知っておきたい内容が詰まった一冊。動物同伴で避難した飼い主さんは、前向きに強くなれるという事例もあるそうです。（桜ヶ丘分館 春日井）

『ぼくは恐竜探検家！』

小林快次／著（講談社）[児童 457](#) ㉟

著者がどういった経緯で恐竜学者になったか、また発掘の現在について平易に語っています。恐竜好きの子どもにはとても参考になると思います。また、困難の乗り越え方など、大人の方、特に子育て中の方にも参考になるのではないのでしょうか。化石が掘りたくなるかも？！

『パリ在住の料理人が教える
フライパンでできる本格フレンチレシピ』

えもじよわ／著（KADOKAWA）[料理 596.2](#) ㊀

Contentsを見ると難しい料理名が並んでいますが、フライパンで大丈夫。（使わないものも。）手順の写真も豊富で、料理名の由来や所々に入るコツなど初心者から楽しめるのでは。スイーツレシピもあります。フレンチなのにクスクス料理などが混ざっているあたりが逆にフランスっぽい!!

『吉本ばななが友だちの悩みについてこたえる』

吉本ばなな／著（朝日新聞出版）[エッセイ 914.6](#) ㊁

書名通りの本です。読む人によって回答に賛成も反対もあるでしょうが、「はじめに」で書いてあるように、宇宙人に質問するような、そう考えるのか！というようなものもあるかも。それにしても友だちの悩みって古今東西あまり変わらないものだなあということを一番感じました。（本館 橋本）

『戦国 戦の作法』

小和田哲男／監修 (G. B.) 歴史 210.4セ

監修は、大河ドラマでも時代考証を担当した日本戦国史の第一人者といわれる小和田先生。戦国時代の武器や装備、戦法、城などについてだけでなく当時の食糧事情、トイレ事情、職業事情など下級兵士や市井の人々の生活についても書かれていて面白いです。時代小説、時代劇を楽しむ時の副読本におすすめです。

『人とどうぶつの血液型』

近江俊徳／編著 (緑書房) 医療 491.3オ

血液型って何？動物にも血液型はあるの？鳥や魚は？植物は？赤くない血はあるの？子どもたちにこんな質問をされたら狼狽えてしまいますね。知っているようで知らない血液の疑問について、イラストや写真も使い、分かりやすく説明されています。本文はふりがな付きで大人から子どもまで楽しんで学べる本です。

『硯の中の地球を歩く』

青柳貴史／著 (左右社) 芸術 728.3ア

「製硯師 (せいけんし)」あまり耳馴染みがない職業ですが、硯の修理や製作を専門にしている職人さんです。石を探して山に分け入り、石に触れてその声に耳を澄ませ、己を無にして石と硯の使い手に寄り添った仕事に徹する…。自分もそうありたいと思いました。ページの各所から著者の硯に捧げる情熱が伝わってきます。

(帷子分館 福井)

『広い宇宙に地球人しか見当たらない75の理由 フェルミのパラドックス』

スティーヴン・ウエップ／著 (青土社) 宇宙 440ウ

地球外生命が存在する可能性は高いのに、我々は未だに見つけれない。この謎に多くの科学者が真剣に取り組み、様々な解を出していることに驚きます。中には「トンデモ」内容にも触れつつ、地道に宇宙論、物理学、確率論を総動員して挑みます。2004年版の改題新版です。

『映画に学ぶ危機管理』

斎藤富雄／編著 (晃洋書房) 社会 369.3サ

映画「シン・ゴジラ」を見て「この“シン”は“震災”の震だ」と思った方、いるのでは。兵庫県の防災関係者もまさにそう考え、映画をもとに災害対策や備えについて真剣に議論し、論考にまとめました。映画は荒唐無稽であっても、実際に想定外の災害が起こる昨今、想像力を駆使しないと真に迫った危機管理はできないのです。

『このゴミは収集できません』

滝沢秀一／著 (白夜書房) 技術 518.5タ

お笑い芸人の著者がゴミ収集会社に就職し、その体験談のつづやきが話題になり本書ができました。ゴミ清掃員の仕事を具体的に紹介した本は、あまりない。そして日頃自分が出しているゴミは、自分の生きざまそのものである、ということを知り知る機会もあまりありません。多くの人に読まれるとよいと思います。

(本館 長谷川)

きりとり

あなたも書いて
みませんか？

2018年に私が読んだこの本！ を募集！

あなたが2018年の1年間に読んだ本の中で、よかったもの・人におすすめしたいものを書いてください。かんたんな内容の紹介文も書いてください。出版年の古い本や図書館にない本でもOKです。選書の参考にします。また、内容を確認のうえ、可児市立図書館ウェブサイトで紹介させていただきます。

| 【本のタイトル・書名】 | 【書いた人・著者名】 | 【出版社】 |
|------------------------|------------|-------|
| | | |
| 【紹介文】 | | |
| | | |
| 【あなたのお名前 (ペンネームも可)】 | | |

しめきり：1月末日

この用紙を本館・各分館に備え付けの「私が読んだこの本！アンケートボックス」に入れるか、FAXで本館までお送りください。【可児市立図書館本館FAX 0574-62-5303】

あたらしく入った本

| 分類 | 書名 | 著者名 | 出版者名 |
|----------|---|-------------|--------|
| 心理・宗教 | | | |
| 114.2/ケ/ | 「死」とは何か 死はなぜ悪いのか。なぜ哲学は「死なないほうが良い」ことを論証できないのか。死の本質について沸き起こる哲学的な疑問の数々を検討する。道徳・哲学・倫理の専門家が「死」をテーマに行うイエール大学の講義を書籍化。 | シェリー・ケーガン／著 | 文響社 |
| 160/イ/ | 異教の隣人 ご近所には異教徒さんがいっぱい！ イスラム教、ユダヤ教、ヒンドゥー教からコプト正教まで、気鋭の宗教学者と取材班がさまざまな信仰の現場を訪ね歩いて考えたルポ。 | 釈徹宗／著 | 晶文社 |
| 社会 | | | |
| 302.2/サ/ | 濟州島を知るための 55 章 豊かな自然、海民の文化や歴史、観光産業、沖縄と共通する住民虐殺の歴史や基地問題を抱えながら「平和の島」をめざす歩み、4・3 事件からの再生、日本との深いつながりなど、濟州島の多彩な姿を紹介する。 | 梁聖宗／編著 | 明石書店 |
| 318.3/コ/ | 10 年で激変する!「公務員の未来」予想図 ロボットの進出、少子高齢化…。自治体で働く職員に向けて、10 年後にどのような社会変化がおこり、それに対して自治体や公務員は今から何をどう準備すべきかを整理・分析する。明日から行動に移せる具体的事例が満載。 | 小紫雅史／著 | 学陽書房 |
| 335.3/ヤ/ | アツギが日本を救う サンワカンパニーの 2 代目社長となった著者が、事業を承継するにあたって困ったことや、よかったこと、失敗したこと、うまくいったことなどを記す。アツギになるか迷っている人たちの参考となる一冊。 | 山根太郎／著 | 幻冬舎 |
| 385.6/イ/ | いまどきの納骨堂 美術館や高級マンションのようなお墓から、「仏壇」「ロッカー」「海」「山」まで、多様化する新しいスタイルのお墓のメリット・デメリットとは。さまざまなお墓を巡った見聞記。 | 井上理津子／著 | 小学館 |
| 自然科学・医学 | | | |
| 431.3/グ/ | 世界で一番美しい化学反応図鑑 エネルギーやエントロピーや時間という、化学反応を特徴づける重要な概念を解説。また、燃焼、爆発、光合成から植物の成長、水の沸騰まで、さまざまな化学反応を美しい写真で紹介する。 | セオドア・グレイ／著 | 創元社 |
| 492.5/タ/ | 姿勢の教科書 上肢・下肢編 不良姿勢を改善するために知っておきたい基礎知識を説明した上で、上肢帯と上肢、骨盤帯と下肢の理想アライメントと不良姿勢、修正エクササイズを、3D イラストで徹底解説。正しく理想的な姿勢を取り戻すための知恵が満載。 | 竹井仁／著 | ナツメ社 |
| 493.9/マ/ | 発達障害に生まれて 幼児教育のプロとして活躍する母が自閉症児を授かり、世間一般の「理想の子育て」から自由になっていく、17 年に及ぶ人生の足跡を描いたルポルタージュ。私たちの日常を縛る「普通」という価値基準の意味を問い直す。 | 松永正訓／著 | 中央公論新社 |
| 技術・家政 | | | |
| 528.2/デ/ | DIY でストーブを作る DIY でストーブを作ることは、ホットな遊びを作ること。リッチな暮らしを作ること。ロケットストーブ、薪ストーブ、時計型薪ストーブの実例&制作ガイドのほか、ストーブ作りのための鉄工 DIY テクニックを収録。 | | 学研プラス |
| 594/テ/ | 身近なもので作るハンドメイドレク 身近なものを蘇らせるリサイクルには、頭を使ったり、手を使ったりとボケないための要素がたくさん。広告チラシで作る花桶、牛乳パックで作るチェストなど、リサイクル手芸を中心にハンドメイドレクを紹介します。 | 寺西恵里子／著 | 朝日新聞出版 |
| 599.0/カ/ | 子どもが教えてくれた世界 子どもの言い分に耳を傾ければ、大人社会のありようが見えてくる。息子&猫と暮らす家族社会学者が、家庭の味、子どもの病気、学級という社会、子ども会など、日常の中の疑問について考えたエッセイ。 | 片岡佳美／著 | 世界思想社 |

| | | |
|-----------|--|-------------------------------|
| 産業 | | |
| 611.7/ヤ/ | 稼げる!新農業ビジネスの始め方 TPP 始動、農業法人解禁、シェア型経営…。チャンスだらけの今なら、年収 1000 万円も難しくない! 農業ビジネスの最前線を紹介しながら、どのようにして農業ビジネスに参入していけばいいのかについて解説する。 | 山下弘幸／著 すばる舎 |
| 673.1/ト/ | ほめられたいときほど、誰かをほめよう たった一言の優しい言葉、励ましの言葉で人は頑張れる。店長として「心が疲れたとき」「言い知れぬ不安に駆られたとき」に読んで、元気や勇気が出るメッセージを 50 の言葉にまとめる。 | 鳥越恒一／著 プレジデント社 |
| 芸術 | | |
| 723/ヤ/ | へんな西洋絵画 可愛くない子どもたち、どう見てもおかしい動物…。偉大な西洋画家たちが描いた“へんな絵”が大集合! ルーベンスからゴッホまで、ちゃんと描こうとしたのになぜか「へん」になってしまった絵を解説とともに紹介する。 | 山田五郎／著 講談社 |
| 723.3/フ/ | フェルメール原寸美術館 フェルメールの全作品 35 点を「光に満ちた輝く白」「揺れる恋心」など 6 つのテーマに分けて紹介。すべての作品について、原寸の図版とわかりやすい解説を掲載する。一部作品は 150%、200%に拡大した部分図版も収録。 | フェルメール／[画] 小学館 |
| 語学 | | |
| 813.4/エ/ | 四字熟語ときあかし辞典 実際の文章表現に役立つ 1106 語の四字熟語を精選して収録し、基本的な意味から発展的な意味まで丁寧に説明。1 項目に複数の用例文を提示し、類義の四字熟語との使い方の違いも解説する。便利な分類索引付き。 | 円満字二郎／著 研究社 |
| 817.7/マ/ | ショートストーリーで学ぶ日本語 ショートストーリーで日本語を学ぶ、MP3 収録の CD 付きテキスト。「うらしまたろう」「雪女」といった昔話から、芥川龍之介「蜘蛛の糸」、有島武郎「溺れかけた兄妹」、宮沢賢治「セロ弾きのゴーシュ」まで全 5 話収録。 | アン・マクナルティ／著 チャールズ・イー・タトル出版 |
| 日本文学ー小説 | | |
| 913.6/ア/ | 血の雫 都内で発生した連続殺人事件。難航する捜査に警察への批判が高まる中、犯人がネットメディアに声明を出したことで、事件は劇場型犯罪へと発展し…。SNS の闇を抉る社会派ミステリ。 | 相場英雄／著 新潮社 |
| 913.6/アサ/ | ラストラン “もう一度勝負したい”。努力型の加納碧李と天才型の三堂貢。再戦を誓った大会を前に、ライバルがまさかの出場停止!? 高校生ランナーの青春を描く、シリーズ最終巻。 | あさのあつこ／著 幻冬舎 |
| 913.6/イサ/ | フーガはユーガ 仙台市内のファミレスで、常盤優我は語り出した。双子の弟・風我のこと、決して幸せでなかった子供時代のこと、そして、彼ら兄弟だけの特別な「アレ」のことを…。不思議で、切ない、長編小説。 | 伊坂幸太郎／著 実業之日本社 |
| 913.6/イノ/ | ハラスメントゲーム 大手スーパーのコンプライアンス室長に任命された渉。一筋縄ではいかない難問に、唯一の部下・真琴と立ち向かい…。様々なハラスメント問題と会社の闇を描くエンタメ企業小説。 | 井上由美子／著 河出書房新社 |
| 913.6/シバ/ | リベンジ 何者かが離れて暮らす笠原武大とその娘の萌子を同時に襲った。一方、警察庁警備局公安課特別捜査室“サクラ”は、萌子誘拐事件の主犯でありながら罪を免れた板倉勘司の関与を疑い…。 | 柴田哲孝／著 双葉社 |
| 913.6/タカ/ | 戒名探偵卒塔婆くん 有力檀家のルーツ探しに仏教界のイメージアップ計画、巨大コンテンツメーカー創始者の生前戒名をめぐる遺産争い…。金満寺の次男・春馬が、同じ高校に通う“戒名探偵”を頼って謎を解く! | 高殿円／著 KADOKAWA |
| 913.6/マイ/ | 私はあなたの瞳の林檎 ずっと好きで好きで仕方がない初恋の女の子。僕の告白はいつだって笑ってかわされ…。表題作をはじめ全 3 作を収録。思春期に直面する壁に、恋のパワーで挑む“甘酸っぱい”作品集。 | 舞城王太郎／著 講談社 |

| | | | |
|-----------|---|----------------|--------------|
| 913.6/ミヤ/ | 野の春 | 宮本輝／著 | 新潮社 |
| | 昭和 42 年、熊吾の息子・伸仁は 20 歳の誕生日を迎える。「この子が 20 歳になるまで死なん」と誓った熊吾の、大願成就の日を家族で祝うが…。戦後の時代相を背景に父と子を描く「流転の海」完結。 | | |
| 913.6/モリ/ | 雨上がりりの川 | 森沢明夫／著 | 幻冬舎 |
| | サラリーマンの川合淳は、妻・杏子、娘・春香とともに穏やかに暮らしていた。しかし、春香がいじめにあったことで「ふつうの幸せ」を失う。家族の絆を救ったのは、まさかの…。 | | |
| 日本文学－エッセイ | | | |
| 914.6/セト/ | 先生、ちょっと人生相談いいですか？ | 瀬戸内寂聴／著 | 集英社インターナショナル |
| | 介護は愛情か、エゴか？ 別れた男への未練をどう断つか？ 詩人・伊藤比呂美が、誰も聞けなかったアレコレを、瀬戸内寂聴にずんずん質問。愛に向かって正直に生きる二人の対談。比呂美流「寂聴文学」ガイドも収録。 | | |
| 914.6/ムラ/ | となりの脳世界 | 村田沙耶香／著 | 朝日新聞出版 |
| | 小さな頃の思い出、影響を受けた本や音楽、旅先での出来事、今まで気づけなかった勘違いに、コンビニバイトのこと…。作家・村田沙耶香がデビューからの 15 年間に各紙誌で綴ったエッセイを集成。 | | |
| 914.6/ヨシ/ | 「違うこと」をしないこと | 吉本ばなな／著 | KADOKAWA |
| | 「違うこと」とは、その人の生き方の中で、今ここでするべきではないこと。吉本ばななが、試行錯誤の結果たどり着いた「自分を生きる方法」を伝える。 | | |
| 外国文学 | | | |
| 933.7/デ/ | ブラック・スクリーム | ジェフリー・ディーヴァー／著 | 文藝春秋 |
| | ニューヨークの誘拐事件の犯人〈作曲家〉が国外に逃亡した。科学捜査の天才ライムと刑事アメリア、介護士のトムはあとを追ってナポリに渡り、現地の警察と共に捜査を開始するが…。リンカーン・ライム・シリーズ第 13 弾。 | | |
| 953.7/ゲ/ | ヨーゼフ・メンゲレの逃亡 | オリヴィエ・ゲーズ／著 | 東京創元社 |
| | アウシュヴィッツ解放後、様々な偽名のもと南米に潜んでいたナチスの医師“死の天使・メンゲレ”は、なぜ生き延びられたのか。謎に満ちた後半生の真実と人間の本質をジャーナリスティックな手法で描いた小説。 | | |

本館 1 階 展 示 の ご 案 内

■ 12 / 11 (火) まで ■

**可児市人権啓発センター、人づくり課
合同人権展** 12月4日から10日は人権週間です。人権とは自分が自分らしく生きるための権利。誰もが身近にある人権問題についてこの機会に考えてみませんか。

■ 12 / 12 (水) ~ 27 (木) ■

漢字の面白さを学べる本展
「今年の漢字」が発表される時期です。今まで選ばれた「今年の漢字」を振り返るとともに、漢字のことを本から学んでみましょう。



貸出カードの登録内容を確認します

図書館の貸出カードの有効期限は3年です。有効期限が近づいた方にはカウンターでお声かけし、住所・電話番号等の確認を行います。登録内容の確認のため、住所の証明できるものをご提示ください。ご本人がご来館ください。高校生以下の方は、保護者の方の証明でも可能です。有効期限が切れても、貸出・予約等はできますが、ホームページ上での貸出更新ができません。また、期限から3年を経過すると、カードは除籍になりますのでご注意ください。

開館時間 【本館】 平日 10:00~19:00、土日祝 10:00~17:00
【分館】 全日 9:00~17:00

休館日 毎週月曜日 (12月3,10,17,24)
年末年始 (12月28日~1月4日)

携帯用
サイト



「図書館だより」2018年12月号

発行：可児市立図書館 電話 (0574) 62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。

今年もご利用いただきありがとうございました。よいお年をお迎えください。